



もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【 森づくり啓発シリーズ 】  
～こんな事にも関わっています～

## 太田川流域振興交流会議学校自然体験事業 「森の学校 森のふしぎを学び楽しもう！ 私たちにできる SDGs！」

5月26日、広島市森林公園にて、美鈴が丘小学校4年生74名の生徒と先生3名が自然体験活動を行い、当倶楽部から16名が指導員として参加し、共に学び合いました。

オリエンテーションでは『森と川のつながりや森と人との関わり』『森林整備の重要性』を山本理事長が判りやすく説明、また、見勢井顧問が、活動する時の注意事項を伝えました。その後、ノコとヘルメットを身に付け11班に分かれて、ヒノキやスギの人工林へ向かい間伐作業を指導し、森の整備を行いました。午後からは間伐材を利用してクラフト体験。みんなで「箱庭づくり」に挑戦しました。

プログラムの中でも、ノコを使っての間伐や、クラフトで使うヒノキの輪切りでは、苦戦する姿も見られましたが、最後までやりきる姿勢がとても頼もしく感じられました。なお、今回の活動に於いては指導者育成としての学習も兼ねており、実際に指導に当たった4名の方々から感想をお寄せいただきました。



広島市森林公園林業体験広場にてオリエンテーション

記 副理事長 富田 実



指導中の河村さん

### 「指導員初体験 感動の一日でした。」 河村吉則(2班)

今回初めての参加でしたが、生徒たちの変化に深く感動した一日でした。林業体験では富田副理事長の優しい言葉遣いの説明に感心しながら、不慣れなノコギリに悪戦苦闘。息を合わせてヒノキを倒しました。その時の生徒たちの笑顔は最高でした。午後の木工クラフトでは柔軟な発想や要望に応えながら共に作品を仕上げ、時間は、あっという間に過ぎていきました。

最後は笑顔のハイタッチでお見送り。来た時とは別人のようにキラキラとした目が印象深く、将来この日の経験が森への関心へとつながればと思います。私自身にとっても、学びの多い大変貴重な1日となりました。

### 「初の指導員。反省を次回の糧に」 青木千恵子(1班)

森林公園の林業体験棟に集合し、各自の担当班などの打合せ後、各自の担当現場の確認を行い、班ごとに道具の準備をしました。

昼食後は午前中に伐倒した木を玉切りし、それを土台に「箱庭」を自由に作ってもらいました。

私は初めての指導員で、のこぎり鋸の扱い方も上手く伝えられず、伐倒も時間ギリギリで子供達に楽しんでもらう余裕がなく反省していますが、今回の体験を次に活かしていきたいと思います。慌ただしい中、事故や怪我ヒヤリハットもなかった事は良かったです。午後のクラフトは玉切りには苦戦していましたが、発想豊かな唯一無二の作品が出来ていました。



「箱庭」製作中